

120年の軌跡 10

このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介します。

昭和59年～平成5年



◀アジア初 世界選手権自転車競技大会ロード競技本市を主会場に、3日間、36カ国から435選手が参加して熱い大会を繰り広げました。

宇都宮市年表

西暦	昭和	主な出来事
1993	5	▽全国高校総合体育大会を開催
1992	4	▽釜川改修事業が完了 ▽世界アルティメット&ガッツ選手権大会を開催 ▽ジャパンカップサイクルロードレース大会が始まる
1990	2	▽世界選手権自転車競技大会ロード競技を開催
1989	元	▽フエスタmy宇都宮が始まる
1988	63	▽清原中央公園に野球場と体育館が完成 ▽食と緑の博覧会(イートピア)を開催
1987	62	▽4月1日が「市民の日」になる ▽第1回宇都宮マラソン大会が始まる
1986	61	▽新市庁舎が現在の場所に開庁
1985	60	▽釜川の本格的改修(二層構造)が始まる
1984	59	▽とちぎ博を開催 ▽宇都宮市が40万都市になる



▶釜川を大改修 釜川の周辺は大雨による多くの被害が出ていたため、水害防止と併せて市民の皆さんが親しめるよう大改修に着手。全国初の二重底構造にし、夜はライトアップするなど中心市街地を彩りました。

はつらっ宮っこ

今、輝いている市民

世界チャンピオンを目指し戦う
宇都宮を愛するプロボクサー チャオズ箕輪

プロボクサー 箕輪 綾子さん



「ボクシングは自分を表現できるもの。勝つことは前提で、お客さんを喜ばせるような試合をしたい」と話す箕輪さん。昨年12月に行われた、東洋太平洋女子フライ級王座決定戦で勝利し、プロ3戦目で新王者となりました。

箕輪さんがボクシングを始めたのは、中学2年生の時。テレビで見たK-1の試合がきっかけでした。「倒されても諦めずに立ち上がる選手の姿に感動し、血が騒いだ。自分がやりたいのはこれだと感じた」と話します。

アマチュアで全日本選手権7連覇や世界選手権ベスト8など輝かしい実績を残し、昨年、プロに転向した箕輪さん。順風満帆

に見えますが、アマチュア時代、引退を考えたこともあるそうです。しかし、周囲の人に支えられ肩の荷が下り、ここまでたどり着きました。

宇都宮に住みながら、東京のジムに通う箕輪さんは、1月に愉快市民に就任し、市長特別賞も受賞。リングネームである「チャオズ箕輪」の「チャオズ」は、中国語で「餃子」の意味。「餃子」ともにボクシングで宇都宮が盛り上がりげば嬉しい。まずは今年、世界チャンピオンになる」と、熱い想いを胸に、今日も宇都宮と東京を奔走します。